



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和2年度 第15号 12月16日



1年間の締めくくりを！



12月も半ばを過ぎ、新型コロナウイルス感染症で揺れに揺れた1年間もあと2週間ほどとなりました。新型コロナウイルスが終息し、マスクを外して笑顔で生活できる日が、一日も早く来ることを願ってやみません。

さて、年の瀬を迎え、大掃除が始まったご家庭もあるのではないのでしょうか。大掃除のルーツは「煤払い（すすはらい）」です。今は珍しいですが、昔はどの家にも囲炉裏（いろり）やかまどがあり、家の中が煤だらけになっていました。そこで、新年を司る年神様を迎える前に家中を清めるため、「煤払い」が行われていました。江戸時代に始まった習慣のようです。今は「煤払い」ではないと思いますが、気持ちよく新しい年を迎えるために、家族みんなで大掃除に汗を流してはいかがでしょうか。子どもたちにも、しっかり役割を与えてやってください。よいお年をお迎えください。

参観日がありました。

12月3, 4日

今年度初めてとなる授業参観を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、授業参観を二日に分けたり、参観人数を制限したりなど大変ご面倒をおかけしましたが、保護者の皆様に子どもたちのがんばる姿を見ていただけてよかったです。

【1年生】

今まで学習してきたことを、国語・算数・体育などのグループに分かれて発表しました。頑張って練習した鍵盤ハーモニカ「きらきらぼし」も全員で演奏し聴いていただきました。



【4年生】

国語の「聞いてほしいな、心に残っている出来事」の学習として、自分が印象に残っている出来事のスピーチをしました。最後に、音楽発表会に向けて練習した合奏「オブラディ・オブラダ」を動画で披露しました。



【2年生】

国語、生活科、図工の学習の中から内容を一人一つ選び、発表をしました。また、音楽発表会のために練習していた歌「あしたは晴れる」と合奏「ディズニーメドレー」を動画で披露しました。



【5年生】

算数「表を使って考えよう」の授業をしました。実際には数えて調べることができない数でも、表を使って規則を見つけることで問題を解くことができる、という学習の様子を参観していただきました。



【3年生】

クラスによって違いますが、国語やかえで学習の時間に調べてまとめたことを発表したり、国語「ことばあつめ」や算数「分数」の学習の様子を見てもらったりしました。



【6年生】

国語、社会、理科、家庭科、人権学習とクラスによって様々でしたが、全員で課題に向かう姿や、友達と協力し合って学習を進める様子を見てもらいました。



避難訓練・防犯教室 12月1日



校内に不審者が侵入してきたときの避難の仕方について訓練をしました。今年は4年B組に不審者が侵入したという想定で行いました。そのあとは引き続きテレビ放送で「防犯教室」を行いました。岡山西警察署のスクールサポーターの方から、「学校で不審者から身を守るためには、自分の考えで勝手な行動をせず、先生の言うことをよく聞いて、みんなと同じ行動をとることが大切だ。」と教えていただきました。また、最近増加しているネットトラブルについても話を聞きました。「自分の命は自分で守る」ために、正しく判断し正しく行動できるよう、日ごろからしっかり考えておきたいものですね。

学校長のつぶやき ～「ありがとう」という言葉～

避難訓練・防犯教室においてくださったスクールサポーターの方が、最後に「ありがとう」という言葉について話をしてくださいました。「『ありがとう』という言葉は、言っても言われても気持ちのいい言葉。心が温かくなる。家族や友達、お世話になった人にしっかり言って心を伝えよう。ありがとうと言える人に、また、ありがとうと言ってもらえる人になろう。」というお話です。防犯には人とのつながりも大切です。心に響きました。

「ありがとう」は「めったにない。めずらしい。」という意味の『有り難し』が変化した言葉です。枕草子には「めったにないもの。舅にほめられる婿。姑に思われるお嫁さん。毛がよく抜ける銀の毛抜き。主人のことを悪く言わない従者。少しも癖のない人。容姿や気立て、態度が秀でており、少しも欠点のない人。…」という部分があります。今も昔も同じですね。(笑)

すごいぞ！BMX！

12月2日(水)にBMXドリームキャラバンがあり、今年度初めて全校児童が運動場に集合しました。まず6年生が体育館で、「夢と目標」ということについて話を聞きました。日本代表監督の出口さんからは、「目標を積み重ねることが夢につながる。」という話を、BMXプロ選手である高木選手からは、「夢をかなえたいのなら、常にポジティブな言葉を言おう。口に出さない夢はかなわない。」というお話がありました。

そのあとは運動場でデモンストレーション。ジャンプ台を使って高く跳び上がったり、宙返りやスピンなどの技を披露してくださいました。子どもたちからは思わず感嘆の声がもれました。内藤選手はまだ中学生で、強化選手として3年後パリで開催されるオリンピックを目指しています。(初めてサインを書いたそうです。)

県警の方からの自転車の安全な乗り方指導もあり、夢のような時間はあっという間に過ぎました。



高木選手

高木選手のサイン



内藤選手

内藤選手のサイン

